☆ 中国株ウィークリーレポート

2019/7/29

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



先週のハンセン騰落ランキング

▼!	騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率
1	舜宇光学科技(02382)	93.85	6.17
2	恒安国際集団(01044)	60.00	5.17
3	中国生物製薬(01177)	9.45	5.00
4	石薬集団(01093)	13.88	4.52
5	万洲国際(00288)	8.19	4.33
6	長江実業地産(01113)	62.70	2.87
7	テ ンセント(00700)	370.20	2.32
8	吉利汽車(00175)	12.46	2.13
9	瑞声科技(02018)	44.30	1.72
10	中国蒙牛乳業(02319)	32.20	1.42
▼ !	騰落率下位	週末終値 (HK \$)	騰落率 (%)
▼]	騰落率下位 新世界発展(00017)	~	
		(HK\$)	(%)
1	新世界発展(00017)	(HK\$)	(%)
1 2	新世界発展(00017) 新鴻基地産(00016)	(HK\$) 11.68 128.00	(%) -5.96 -5.74
1 2 3	新世界発展(00017) 新鴻基地産(00016) AIAグループ [*] (01299)	(HK\$) 11.68 128.00 84.20	(%) -5.96 -5.74 -4.86
1 2 3 4	新世界発展(00017) 新鴻基地産(00016) AIAゲループ(01299) チャイナ・ユニコム(00762)	(HK\$) 11.68 128.00 84.20 7.86	(%) -5.96 -5.74 -4.86 -4.61
1 2 3 4 5	新世界発展(00017) 新鴻基地産(00016) AIAグループ (01299) チャイナ・ユニコム(00762) チャイナ・モバイル(00941)	(HK\$) 11.68 128.00 84.20 7.86 67.40	(%) -5.96 -5.74 -4.86 -4.61 -4.60
1 2 3 4 5 6	新世界発展(00017) 新鴻基地産(00016) AIAケループ(01299) チャイナ・ユニコム(00762) チャイナ・モハ・イル(00941) サンス・・チャイナ(01928)	(HK\$) 11.68 128.00 84.20 7.86 67.40 39.35	(%) -5.96 -5.74 -4.86 -4.61 -4.60 -4.26
1 2 3 4 5 6	新世界発展(00017) 新鴻基地産(00016) AIAケループ(01299) チャイナ・ユニコム(00762) チャイナ・モハ・イル(00941) サンス・・チャイナ(01928) 銀河娯楽(00027)	(HK\$) 11.68 128.00 84.20 7.86 67.40 39.35 55.25	(%) -5.96 -5.74 -4.86 -4.61 -4.60 -4.26 -3.83

▼今週の主なイベント

7月30日(火) 【中国】米中閣僚級協議(31 日まで) 【米国】FOMC(31 日まで) 7月31日(水) 【中国】製造業 PMI(7 月)

【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落 率(%)	年初来騰 落率(%)	18年末株価
NYダウ	27,192.45	51.47	0.19	0.14	16.57	23,327.46
NASDAQ	8,330.21	91.67	1.11	2.26	25.54	6,635.28
日経225	21,658.15	-98.40	-0.45	0.89	8.21	20,014.77
上海総合	2,944.54	7.18	0.24	0.70	18.07	2,493.90
滬深300(CSI300)	3,858.57	7.50	0.19	1.33	28.16	3,010.65
ハンセン	28,397.74	-196.56	-0.69	-1.28	9.87	25,845.70
中国企業	10,853.17	-77.19	-0.71	-0.52	7.19	10,124.75

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は 1.3%安と反落、上海総合指数は 0.7%高と反発

香港市場ではハンセン指数が週間で 1.3%安と反落。週初は大きく下げて始まったが、 その後ファーウェイへの制裁緩和期待が高まったことや、30-31 日に上海で米中の閣僚 級通商協議が開かれることが決まり、25日まで3日続伸と持ち直す展開となった。ただ、 翌週の米 FOMC や米中協議を見極めたいとの思惑から手控えムードも強く、26 日には再 び売りに押される展開となった。本土市場では上海総合指数が週間で 0.7%高と 3 週ぶり に反発。週末にかけ米中閣僚級協議への期待を背景に買い戻しの動きが続いた。

今週の展望: 香港市場は神経質な展開か、重要イベント目白押しで模様眺めも

今週の香港市場は神経質な展開か。重要イベントが目白押しで、結果を見極めようとの 思惑が強まりそうだ。7月30-31日には FOMC と米中貿易交渉が行われ、中国製造業購 買担当者景気指数 (PMI) や米雇用統計といった経済指標の発表も相次ぐ。FOMC では 10 年半ぶりの利下げを決める見通しで焦点は利下げ幅。米中貿易交渉は5月上旬以来となる 対面の閣僚級協議だが、妥結の可能性は低いようだ。一方、上海総合指数は上値が重いか。 先週末に3週間ぶりの高値で引けただけに利益確定売りが出やすいと予想される。

▼今週の期待材料

- ◆30-31 日に上海で米中の閣僚級通 商協議、協議に進展があれば香港市場 にとっても大きな支援材料に
- ◆米商務長官がファーウェイへの輸出 許可について「今後数週間で判断する」 と発言、制裁緩和期待が高まる
- ◆8 月 2 日に 7 月の米雇用統計発表 へ、低調な内容なら9月のFOMCで も利下げ観測が続く見通し

▼今週の懸念材料

- ◆31 日に 7 月の中国の製造業 PMI が 発表に、弱い数字なら中国景気の先行 き不安が高まる可能性も
- ◆30-31 日に米 FOMC で利下げ実 施へ、さらなる利下げに慎重な意見が 出てきた場合には相場の重しに
- ◆香港で 28 日に再び「逃亡犯条例」 改正案を巡る抗議デモ、中国政府は人 民解放軍出動の可能性を示唆

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

☆ 中国交通建設 (01800): 成都の PPP 方式でのニュータウン開発推進、新会社を設立

☆ 中国電力国際(02380):19年上期の電力販売量は前年同期比28%増、水力が60%増

☆ 中興通訊 (00763): 「5G コネクテッドカー」 開発へ、中国汽車工程研究院と提携

☆ 中国平安保険 (02318):不動産開発の中国金茂 (00817) に出資、第2位株主に

☆ **洛陽モリブデン (03993)**: ベースメタル事業のオランダ企業買収、24 日までに完了

☆ サンズ・チャイナ (01928): 米国会計基準の 4-6 月期決算は 1%増収、20%増益

☆ 中国鉄建 (01186):黒龍江省の環境重視の工業団地建設、コンソーシアムで受注

☆ 融創中国 (01918):19年6月中間決算は45%超の増益見通し、引き渡し物件が増加

★ 澳門博彩控股 (00880): コタイ地区で開発中の大型カジノ、開業時期延期の観測

★ 中信資源控股(01205): 19 年 6 月中間決算は純利益が 32%減、売上高は 15%減

本資料は、当社が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するも のではありません。ここに示したすべての内容は、当社で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。本資料の利 用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。本資料で記載・掲載している数値および材 料などは、会社発表資料のほか各証券取引所、弊社提携先などのデータに基づき作成したものです。

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ(以下、「DZH」と称します)により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合もあります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますよう お願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平14.1.25」 に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。